

# 38.ケガニ

主な漁業と漁期  
けがにかご：3月中旬～8月



## オホーツク海海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

宗谷岬沖合の二丈岩周辺から知床沖までの水深150m以浅に帯状に分布しています。生息域の底質は砂質及び砂泥質で、生息水温はほぼ10℃以下です。

#### ◆産卵期・産卵場

◎交尾期は7～翌1月で、産卵期は交尾から約1年後の10～翌1月です。幼生ふ化期は、産卵後1年以上経過した3～4月です。

◎産卵場は不明です。

◎産卵生態：オスの生殖周期は1年、メスは3年です。メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に付着させ、幼生がふ化するまで保護します。

#### ◆成長・成熟

	甲長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
2歳	48	48	61	56
3歳	60	56	122	90
4歳	73		218	
5歳	86		362	
6歳	86		367	
7歳	100		565	
8歳	100		578	

\*) 三原ら(2016)、Abe(1992)、網走水試ら(1987)より  
\*) 加齢の基準日：3月1日

#### ◎成熟年齢・甲長

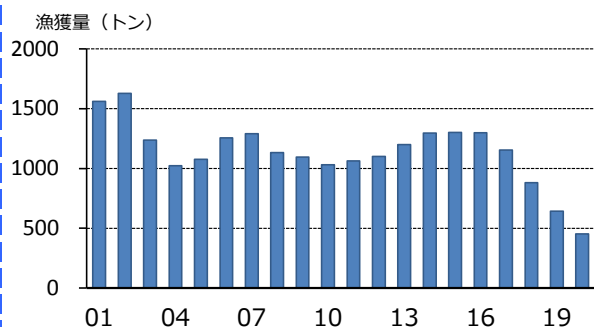
- ・オス：2歳、甲長40mm台から成熟する個体が見られます。
- ・メス：3歳、甲長50mm以上から成熟する個体が見られます。

### 資源評価

[評価年] 3月～翌2月

[資源水準の指標] 甲長7cm以上の雄の資源量指数

2020年度の漁獲量は452トンで前年と比べ減少しました。2020年度の資源水準は低水準でしたが、2021年度の資源水準は4年ぶりに中水準に回復し、翌年にかけての資源動向は増加と判断されました。2022年以降に漁獲加入する7cm未満の資源量指数は依然低い水準にあることと、資源の分布に偏りが大きいことから、資源動向に注意するとともに、許容漁獲量をABCの範囲内に設定することが重要です。



2020年度  
の水準



低水準

2021年度  
の動向

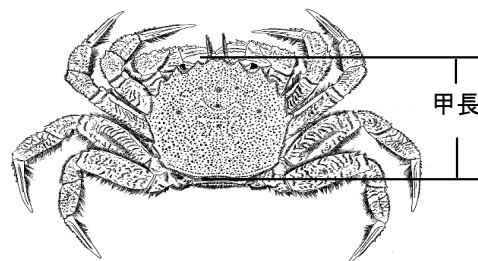


増加

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

- 北海道漁業調整規則  
雌ガニ及び甲長8cm未満の雄ガニの採捕禁止を定めています。
- 許可の制限条件等  
許可隻数、操業期間、かご数・目合の制限をしています。また、毎年資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆現状の措置を遵守すると同時に、資源状況に見合った資源利用を図っていく必要があります。また、密漁対策を継続していく必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 稚内水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0162-32-7166